

## 第3学年及び第4学年の内容項目はどう改善されたのか。

### 【新学習指導要領】

18項目

#### 1 主として自分自身に関すること

- (1) 自分でできることは自分でやり、よく考えて行動し、節度のある生活をする。
- (2) 自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げる。
- (3) 正しいと判断したことは、勇気をもって行う。
- (4) 過ちは素直に改め、正直に明るい心で元気よく生活する。
- (5) 自分の特徴に気付き、よい所を伸ばす。

従前の1の(2)「よく考えて行動し、過ちは素直に改める」を削除し、その趣旨を1の(1)の基本的な生活習慣の形成に関する内容に「よく考えて行動し」を加えるとともに、1の(4)の正直さや明るい心に関する内容に「過ちは素直に改め」を加えることによって、他の学年段階における内容との指導のつながりや発展性をより分かりやすいものにした。また、このことにより1の視点内での各学年段階間の内容項目のつながりが一層深められるようにした。

現行学習指導要領では「正しいと思うこと」となっている所を、今回「正しいと判断したこと」と改め、善悪の判断をより主体的に自らの考えで行うものであることとした。

この項目は今回新たに追加された項目である。児童が自己の生き方を大切に考え、多様な可能性を意識しながら自己のよさを実現するために意欲的に取り組んでいくことが重要であるとの考えを踏まえたものであり、高学年段階の1の(6)「自己の特徴を知って、悪い所を改めてよい所を積極的に伸ばす」につながる内容項目である。また、この項目で育てる態度は、第1・2学年の段階においても、例えば、勉強や仕事をしっかり行うことや、よいことを進んで行うことなどに関する指導を通じてはぐくまれている。

#### 2 主として他の人とのかかわりに関すること

- (1) 礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接する。
- (2) 相手のことを思いやり、進んで親切にする。
- (3) 友達と互いに理解し、信頼し、助け合う。
- (4) 生活を支えている人々や高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもって接する。

「進んで」を付加した。自ら進んで行うことを強調した。

現行学習指導要領にある(1)の項目と(2)の項目を入れ替えてある。従来の(2)の生命尊重の内容項目を重視する考えから、新学習指導要領では3の視点の最初に位置付けた。

#### 3 主として自然や崇高なものとのかかわりに関すること

- (1) 生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にする。
- (2) 自然のすばらしさや不思議さに感動し、自然や動植物を大切にする。
- (3) 美しいものや気高いものに感動する心をもつ。

### 【現行学習指導要領】

- (1) 自然のすばらしさや不思議さに感動し、自然や動植物を大切にする。
- (2) 生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にする。

#### 4 主として集団や社会とのかかわりに関すること

- (1) 約束や社会のきまりを守り、公德心をもつ。
- (2) 働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働く。
- (3) 父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくる。
- (4) 先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学級をつくる。
- (5) 郷土の伝統と文化を大切にし、郷土を愛する心をもつ。
- (6) 我が国の伝統と文化に親しみ、国を愛する心をもつとともに、外国の人々や文化に関心をもつ。

現行学習指導要領では「進んで働く。」となっているところを、「進んでみんなのために働く。」と改めた。働くことによる社会参画への意識を中学年なりに一層深められるようにした。

教育基本法の改正の趣旨を生かし、現行学習指導要領では「文化と伝統」になっているのを「伝統と文化」という文言にした。